

市町村名	東村						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	東村観光振興事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (2) - ウ	
担当部課名	企画観光課	事業実施(予定)年度	平成 2 5 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 - 1 - (1)		
事業内容	東村観光振興計画において重点プロジェクトとして位置付けられたエコツーリズム、グリーンツーリズム、ブルーツーリズム等の自然体験型観光の新たなフィールドやプログラムの開発、農業体験の質の充実、エコツアーフィールドの受入容量の設定や利用調整、観光情報の発信、PR活動等を実施する。						
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a)当初予算額 (b)予算現額 (c)増減額(b-a) (d)繰越額 A.計(b+d)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
				5,865			
				5,865			
	B.執行済額			5,549			
	うち交付金充当額			4,439			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)			94.6%			
	予算の状況の説明		ガイドマップの作成を予定していたが、26年度完成予定であるブルーツーリズム体験施設等整備事業及び福地川河口周辺連携強化整備事業の完了後、ガイドマップに加えた方が広報効果があると判断し、ガイドマップの作成は未実施。しかし、当初計画していた事業内容の成果目標達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	誘客プロモーション:2回	目標	()	(2回)	()	()	
		実績		4回			
	ポスター、ガイドマップ等作成	目標	()	(ガイドマップ等)	()	()	
		実績		ポスター作成			
達成状況説明	○誘客プロモーション 沖縄仕入営業(4旅行者)、関西での営業、JATA旅博チャリティーオークション出品、都心部での修学旅行説明会等への実施。 ○観光ポスター ポスターの作成 5種類 各500枚 ○新たなプログラムの創出 グリーンツーリズム部会とエコツーリズム部会の連携による、カヌー体験と赤土流出防止対策(ベチバー植栽)をセットにした修学旅行生向けの新たなプログラムを開発。また、新たなフィールド開拓のため、高江にある新川川のフィールド調査を実施。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	誘客プロモーション:2回 自然体験型観光の新たなフィールド開拓	目標	()	()	(2回)	()	()
		実績			4回		
	ポスター、ガイドマップ等作成	目標	()	()	(ポスターガイドマップ等)	()	()
		実績			ポスター作成		
	進捗状況説明	○誘客プロモーション 沖縄仕入営業(4旅行者)、関西での営業、JATA旅博チャリティーオークション出品、都心部での修学旅行説明会等への実施。 ○観光ポスター ポスターの作成 5種類 各500枚 ○新たなプログラムの創出 グリーンツーリズム部会とエコツーリズム部会の連携による、カヌー体験と赤土流出防止対策(ベチバー植栽)をセットにした修学旅行生向けの新たなプログラムを開発。また、新たなフィールド開拓のため、高江にある新川川のフィールド調査を実施。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・近年、自然体験型の観光プログラムが新たな産業として関心を集める反面、過剰な観光利用や自然環境保全への配慮がない観光事業者等による自然環境の荒廃が懸念されていることから、地域資源(自然や文化)を保全するための配慮が不可欠であり資源を持続的に保全・利用していくためのルールを策定し、ガイドや事業者等の関係者間でそのルールを守っていくことが重要である。	・新たなプログラムの開発を効率よく推進していくためにもエコツーリズム部会、グリーンツーリズム部会、ブルーツーリズム部会等の関係機関の連携強化を図る。
今後の取り組み方針		
・エコツアーフィールドの受入容量の設定や利用調整をエコツーリズム部会の定例役員会や臨時総会で話し合い、東村ふれあいヒルギ公園の業者間ルールを制定。今後継続的に関係機関と調整を図り見直し等を検討していく。又、現在推進している観光事業の更なる発展並びに継続を図るため、今後は人材育成(後継者育成)を積極的に実施する。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,549</td><td>5,549</td><td>4,439</td><td>1,110</td><td></td></tr> </tbody> </table> 東村 5,549千円 委託料 5,235千円 需用費 314千円 NPO法人東村観光推進協議会 5,235千円 (株)正広コーポレーション 314千円 東村観光振興計画の具現化にかかる委託業務 観光ポスターの作成・印刷					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,549	5,549	4,439	1,110	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,549	5,549	4,439	1,110											
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業の性質及び目的が競争入札に適しないことから、企業組織、実績、知識等を助案し、村内で体験型観光を総合的に行っている唯一の事業所を選定し、随意契約を締結した。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものの等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	東村						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	ブルーツーリズム体験施設等整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (2) - ウ	
担当部課名	企画観光課	事業実施(予定)年度	平成 2 5 ~ 2 7 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 - 1 - (1)	
事業内容	東村内において新たな観光フィールドを開発するため、宮城地区にブルーツーリズムの体験に必要な便益施設(トイレ、更衣室、シャワー、駐車場等)及び海へのアクセス道の整備を行うため基本計画を策定する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(b)予算現額		3,675			
		(c)増減額(b-a)		▲ 1,785			
		(d)繰越額	-	-			
		A.計(b+d)		1,890			
	B.執行済額			1,890			
	うち交付金充当額			1,512			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)			100.0%			
	予算の状況の説明		指名競争入札の結果、当初予算額より入札残額を補正減した。				
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	ブルーツーリズム体験施設の基本計画の策定(建築場所、施設規模、アクセス道整備)	目標	()	(基本計画策定)	()	()	
		実績		基本計画策定			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	ブルーツーリズム体験施設(建築場所、施設規模、アクセス道整備)の基本計画策定を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	ブルーツーリズム体験施設の基本計画の策定(建築場所、施設規模、アクセス道整備)	目標	()	()	(計画策定)	()	()
		実績			計画策定		
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	ブルーツーリズム体験施設(建築場所、施設規模、アクセス道整備)の基本計画策定を行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	東村では、これまでに平成11年に東村エコツーリズム協会が設立され、翌年の平成12年にはブルーツーリズム協会、平成16年には東村グリーンツーリズム研究会が発足された。平成17年には、2つの協会と研究会が統合され東村観光推進協議会を設立し、東村観光の核となる組織体制が確立されさまざまな体験・滞在型プログラムを促進してきた。しかし、豊かな海に面しながらもこれまで十分な活用がみられなかった、海を活用する分野に注目し、ダイビングやシュノーケリング等の体験観光を導入して、さらなるブルーツーリズムプログラムの推進を図ることが重要である。	知名度の高い「やんばる」の自然資源や、地域の魅力あふれる資源を有効活用し、自然体験型観光メニューを充実化させ、来訪者の滞在時間を伸ばす取組みの推進を図る。
今後の取り組み方針		
・エコツーリズム、グリーンツーリズム、ブルーツーリズムを組み合わせたプログラム開発。連携することで、来訪者が1日中、村内観光を楽しめるメニューを検討する。又、現在推進している観光事業の更なる発展並びに継続を図るため、今後は人材育成(後継者育成)も積極的に実施する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象 事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr><tr><td>1,890</td><td>1,890</td><td>1,512</td><td>378</td><td></td></tr></table> 東村 1,890千円 → 委託料 1,890千円 → (株)沖縄設計センター 1,890千円 (ブルーツーリズム体験施設等基本計画策定 にかかる委託業務)					総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	1,890	1,890	1,512	378	
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
1,890	1,890	1,512	378											

資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定し、指名競争入札に付して決定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	東村						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2	東村海外移住者子弟研修生受入事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 4 - (1) - ア	
担当部課名	企画観光課	事業実施(予定)年度	平成 2 5 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界との交流ネットワークの形成 - 7		
事業内容	南米2カ国(ブラジル・アルゼンチン)の東村人会の子弟(2世・3世)を研修生として受入、沖縄県内において技術研修を実施するとともに村民及び県民との交流をとおり、本村と移住先国との友好親善に資するために、研修生受入事業を実施する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額		2,610			
		(b)予算現額		2,610			
		(c)増減額(b-a)					
		(d)繰越額	-	-			
		A.計(b+d)		2,610			
	B.執行済額	うち交付金充当額		1,918			
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)		91.8%			
	予算の状況の説明		・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。 ・予算執行については、ブラジル研修生で当初決定していた研修生が諸事情により辞退し、次点候補者との入国手続き等が遅れ、受入期間が2週間程遅れたことによる執行率となっている。				
	活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況			
24年度				25年度	26年度	27年度	
研修生受入 3人		目 標	()	(3人)	()	()	
		実 績		3人			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	・計画通り実施し沖縄の観光、日本の教育と日本語、伝統工芸である紅型等の研修を行った。又、沖縄及び本村の文化や伝統芸能、県内の世界遺産等の研修も行い、村と移住先国との架け橋となる人材育成が行われた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	研修生受入(3人)及び技術研修の実施	目 標	()	()	(3人)	()	()
		実 績			3人		
	〔参考指標〕	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
進捗状況説明	・沖縄の観光、日本の教育と日本語、伝統工芸である紅型等の研修を実施。滞在期間中、地域に受け入れられ、子供から高齢者まで交流することができ、沖縄及び本村の文化を直に体験することができた。本国へ帰国後は、研修で学んだ事を県人会や村人会等に伝え、南米諸国と沖縄・東村との架け橋となる先導的役割を果たす人材育成に貢献できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・研修実施にあたり、研修生対象者が2世・3世の世代となっているが、研修生自体の言語能力(日本語)の向上が必要である。	・現地の1世等が高齢化する中、推薦する研修生等について現地で事前日本語会話等の研修が必要である。
今後の取り組み方針		
・現地東村人会等と連携を図り、研修生選考の際には日本語会話等の事前研修を行えないか調整を図る。又、2世・3世の方達が沖縄及び東村が南米諸国の架け橋となるためには、こういった事を他に学びたいのかを調査し、移住先国の意見等も踏まえ今後の受入事業に取り組んでいく必要がある。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,037</td><td>2,397</td><td>1,918</td><td>479</td><td>640</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,037	2,397	1,918	479	640
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,037	2,397	1,918	479	640										
東村 3,037千円 補助金 3,037千円 研修生受入 3人 3,037千円 村負担分(交付対象外経費) 640千円 研修生受入にかかる経費の補助 内訳 旅費(渡航費) = 935,168円 → 旅行会社等 支度料 = 75,000円 宿泊費 = 1,005,000円 → 宿泊先 書籍費 = 30,000円 交通費 = 100,000円 厚生費(保険) = 26,960円 → J A その他(振込手数料) = 1,470円 その他(プリペイド携帯) = 17,400円 その他(講師謝礼金) = 60,000円 → 研修先 その他(雑費) = 146,520円 対象外経費 日当 = 636,000円 食料費 = 3,630円														

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なもののなか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○研修生の決定については、事業実施要綱にて規定されている研修生の資格要件を備えた者を現地村人会から推薦して頂き決定している。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金交付要綱に則り交付を行ったことから受益者負担は適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	東村						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3	東村教育施設環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 5 - (2) - ア	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成 2 5 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	公平な教育機会の享受に向けた環境整備		
					- 3 - (1)		
事業内容	亜熱帯気候である本県は年間を通して高温多湿な状況が長期間続き、特有の虫も多いことから幼児、児童生徒等の学習環境を改善し学習に集中できるよう、村内の幼稚園、小中学校に空調設備等を設置する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a)当初予算額 (b)予算現額 (c)増減額(b-a) (d)繰越額 A.計(b+d)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
				5,229			
				5,229			
			-				
	B.執行済額			5,124			
	うち交付金充当額			4,099			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)			98.0%			
	予算の状況の説明		不用額が発生しているが入札残によるものであり、予算は適正に執行できた。				
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	網戸及び扇風機・空調機設置一式(村内3校)	目 標	()	(3 校)	()	()	
		実 績		3 校			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	東校空調機2基 高江校扇風機18台 有銘校扇風機8台 設置 高江校網戸74カ所 東校網戸62カ所 有銘校網戸85カ所 設置						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	網戸及び扇風機・空調機設置一式(村内3校)	目 標	()	()	(3 校)	()	()
		実 績			3 校		
	[参考指標]		目 標	()	()	()	()
			実 績				
	進捗状況説明	東校空調機2基 高江校扇風機18台 有銘校扇風機8台 設置 高江校網戸74カ所 東校網戸62カ所 有銘校網戸85カ所 設置					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	ほぼ現状における学校現場の要望に添う設備の整備ができたが、設置後の状況の確認をしてさらなる追加の整備が必要なのか検証する必要がある。	これまで小中学校とともに各教室における暑さ・虫等の対策は、扇風機や網戸で対応してきたが、さらなる学習環境の改善を考慮すると普通教室から優先的にクーラーの整備が望まれる。
今後の取り組み方針		
今回の整備後における各学校の状況・意見等を踏まえさらなる教育環境の改善に取り組む。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,124</td><td>5,124</td><td>4,099</td><td>1,025</td><td></td></tr> </tbody> </table> 東 村 5,124千円 工事請負費 5,124千円 (有)末吉電水工業 2,625千円 (有)匠プランニング 2,499千円 空調機・扇風機整備にかかる工事請負費 網戸整備にかかる工事請負費					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,124	5,124	4,099	1,025	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,124	5,124	4,099	1,025											
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・工事請負業者は、実績等を勘案し指名委員会の決定を経て指名競争入札で選定しており妥当だったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	東村						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4	東村クリーンエネルギー推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 1 - (3) - イ	
担当部課名	総務財政課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 ~ 2 5 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	低炭素島しょ社会の実現 - 11 - (3)	
事業内容	本村の豊かな自然資源を利用したクリーンエネルギーの普及による環境に優しいエコな村づくりを推進するため、村内の公共施設に太陽光パネルを設置し太陽光発電を整備する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a)当初予算額 (b)予算現額 (c)増減額(b-a) (d)繰越額 A.計(b+d)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
		(a)当初予算額		144,438			
		(b)予算現額		127,688			
		(c)増減額(b-a)		▲ 16,750			
		(d)繰越額	-				
	B.執行済額			127,680			
	うち交付金充当額			102,144			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)			100.0%			
	予算の状況の説明		入札の結果、残額が発生したが減額補正を行ったため、執行率が100%となった。				
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	太陽光発電設備の設計及び設置工事	目標	(6箇所)	(10箇所)	()	()	
		実績	6箇所	10箇所			
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	予定していた公共施設10箇所全てに設置を完了した。 設置施設 公民館等避難施設(7箇所)、東村特産品加工直売施設、排水処理施設、村立歯科診療所						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(25年度)
	太陽光発電設備の設計及び設置工事	目標	()	(6箇所)	(10箇所)	()	(16箇所)
		実績		6箇所	10箇所		
	[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	予定していた公共施設10箇所全てに設置を完了した。 設置施設 公民館等避難施設(7箇所)、東村特産品加工直売施設、排水処理施設、村立歯科診療所					

市町村名		東村						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名		5		東村観光誘客施設(仮称)整備事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		
担当部課名		総務財政課		事業実施 (予定)年度		平成 2 5 ～ 2 7 年度		
				沖縄振興基本方針 該当箇所		第3章 - 3 - (12) - ア 離島の特徴を活かした産業振興 と新たな展開 - 1 - (1)		
事業内容		東村が輩出した多彩な人材の功績や経歴、所有品等の紹介・展示等を行う施設を整備するための基本計画を策定する。						
実施方法		☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		予算 の 状 況	(a)当初予算額		5,040			
			(b)予算現額		4,940			
			(c)増減額(b-a)		▲ 100			
			(d)繰越額	-	-			
			A . 計 (b+d)		4,940			
		B . 執行済額			4,935			
		うち交付金充当額			3,948			
		次年度繰越額						
		執行率 (%) (B/A)			99.9%			
予算の状況の説明		計画通りの内容を実施できた。入札の結果、残額が発生したため減額補正を行った。						
活動目標 (指標) 及び達成状況		H25活動目標(指標)		達成状況				
				24年度	25年度	26年度	27年度	
		東村観光誘客施設(仮称)の基本計画の策定	目 標	()	(基本計画策定)	()	()	
			実 績		基本計画策定			
			目 標	()	()	()	()	
			実 績					
達成 状況 説明	東村観光誘客施設(仮称)の基本計画(施設のあり方、展示計画、施設計画、管理運営計画など)を策定した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況		H25成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
		東村観光誘客施設(仮称)の基本計画の策定(施設内容、施設規模、管理運営方法)	目 標	()	()	(計画策定)	()	()
			実 績			計画策定		
		[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()
			実 績					
		進 捗 状 況 説 明	本村が輩出した人材の功績や経歴、所有品等の紹介・展示を行い、観光誘客や人材育成を図る施設の整備に向けた基本計画(施設のあり方、展示計画、施設計画、管理運営計画など)を策定した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	施設設置場所の検討において防災を重視するか、利便性を重視するかで意見が分かれ施設建設場所を決定することができなかった。 収支計画において4,500千円の収入不足が予測された。 基本計画において公設民営を考えており、設計の段階から管理する者の意見を尊重する必要があるため早めに指定管理者を選定する必要がある。	施設整備を行うためには、基本計画を踏まえて更なる検討を行い、設置場所を決定する。 収入不足分について、指定管理者の経営努力も不可欠であるが、施設管理費として村が負担することも考慮する必要がある、 早めの指定管理者の選定又は内諾を得る。
今後の取り組み方針		
上記の改善が図られ次第、施設整備に向けて進める。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
東村 4,935千円 → 委託料 4,935千円 → (株)国建 4,935千円 〔東村観光誘客施設(仮称)基本計画の策定にかかる委託業務〕														
		<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>4,935</td><td>4,935</td><td>3,948</td><td>987</td><td></td></tr> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	4,935	4,935	3,948	987			
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
4,935	4,935	3,948	987											
資金の流 れ、使 途の 点 検 ・ 費 目 ・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託事業者は、企業組織、実績、知識等を勘案した上で指名業者を選定し、入札で契約の相手方を決定しており妥当であったと考えている。 ○ 費目・使途については事業目的の達成の観点からも必要なものなのかについて額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	東村						
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-	東村村民の森(つつじ園・エコパーク)施設機能強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 3 - (12) - ア	
担当部課名	東村役場企画観光課		事業実施(予定)年度	平成 2 5 ~ 2 7 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	
						離島の特色を活かした産業振興と新たな展開 - 1 - (1)	
事業内容	村民の森つつじ園の駐車場、管理棟、展望台等の機能強化を図るため基本計画を策定する。また、つつじエコパークに遊具施設を整備する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(b)予算現額		105,776			
		(c)増減額(b-a)		▲ 7,030			
		(d)繰越額	-				
		A. 計(b+d)		98,746			
	B. 執行済額			96,956			
	うち交付金充当額			77,564			
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)			98.2%			
	予算の状況の説明		不用額が発生しているが入札残によるものであり、予算は適正に執行できた。				
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	東村村民の森施設機能強化基本計画策定	目 標	()	(基本計画策定)	()	()	
		実 績		基本計画策定			
	つつじエコパーク遊具設置の設計及び設置工事	目 標	()	(遊具設置)	()	()	
		実 績		遊具設置			
	達成状況説明	・東村民の森つつじ園及びエコパークの機能強化を図るため基本計画を策定した。 ・つつじエコパークに大型複合遊具を整備した。(滑り台、ネット、ターザンロープ、テント遊具、幼児対象遊具)					
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	東村村民の森施設機能強化基本計画策定	目 標	()	()	(基本計画策定)	()	()
		実 績			基本計画策定		
	つつじエコパーク遊具設置の設計及び設置工事	目 標	()	()	(遊具設置)	()	()
		実 績			遊具設置		
	進捗状況説明	・東村民の森つつじ園及びエコパークの機能強化を図るため基本計画を策定した。 ・つつじエコパークに大型複合遊具を整備した。(滑り台、ネット、ターザンロープ、テント遊具、幼児対象遊具)					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・当初の計画通り、つつじエコパーク内へ大型遊具を整備することができた。	・大型遊具の安全管理等の徹底が必要となる。
	・平成24年度に実施した「ヒルギ公園等長寿命化計画策定業務」の調査において、つつじ園内各施設の老朽化が進行しており、改善を要するとの評価であった管理棟、展望台等の機能強化を図るための基本計画を策定できた。	・基本計画の具現化を行う。
今後の取り組み方針		
東村村民の森つつじエコパークに、大型遊具を設置したことにより、来客者が増加出来るよう、周知等を実施していく。また、東村村民の森基本計画に基づき、機能強化の具現化を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
		96,956	96,956	77,564	19,392	

東村
96,956千円

委託料
26,712千円

工事請負費
70,244千円

(株)国吉設計
21,147千円

(有)国誠測量設計
5,565千円

(有)大建興業
65,310千円

東海土建
4,934千円

東村村民の森基本計画(設計)
委託業務

委託業務の内容
1 測量設計業務 (駐車場 遊歩道)
2 基本設計業務
(東屋 展望台 便所 管理棟 観覧施設 宿泊施設)

東村村民の森遊具整備設計
委託業務

東村村民の森遊具設置工事

東村村民の森遊具施設整備工事

資金の 使途の 流れ、 点検、 評価、 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者及び工事請負業者は、指名委員会を経て指名競争入札にて決定、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	東村							
平成 2 5 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-	東村指定文化財周辺整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 1 - (5) - ア		
担当部課名	東村教育委員会	事業実施(予定)年度	平成 2 5 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化産業の戦略的な創出・形成			
					- 3 - (2)			
事業内容	村指定の文化財(天然記念物)であるサキシマスオウノキとオガタマノキ周辺の駐車場や休憩所、展望デッキ等を整備する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額		24,020				
		(b)予算現額		27,650				
		(c)増減額(b-a)		3,630				
		(d)繰越額	-	-				
		A.計(b+d)		27,650				
	B.執行済額			27,563				
	うち交付金充当額			22,050				
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)			99.7%				
予算の状況の説明		計画どおり遂行するために工事費が増となった。不用額が発生しているが入札残によるものであり、予算は適正に執行できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)			達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	駐車スペース・休憩所・展望デッキの整備	目標	(-)	(2箇所)	()	()		
		実績	-	2箇所				
		目標	(-)	()	()	()		
		実績	-					
達成状況説明	東村指定文化財周辺2箇所を整備した。 サキシマスオウノキ(駐車スペース・展望デッキ・休憩所) オガタマノキ(駐車スペース)							
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)			基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	駐車スペース・休憩所・展望デッキの整備	目標	(-)	(-)	(2箇所)	()	()	
		実績		-	2箇所			
	[参考指標]	目標	(-)	(-)	()	()	()	
		実績		-				
	進捗状況説明	東村指定文化財周辺2箇所を整備した。 サキシマスオウノキ(駐車スペース・展望デッキ・休憩所) オガタマノキ(駐車スペース)						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	駐車スペース・休憩所・展望デッキ等の整備により、見学に訪れる利用者の利便性、安全性が確保され、今後は文化財に触れる機会の充実を図る必要がある。	各施設の機能強化がなされたことにより、周辺施設と文化財との連携した新たなプログラムの工夫を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
文化財周辺施設と連携し文化財の有効利用を図り、東村の豊かな自然環境の保護・保持も併せて取り組みを行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
東村 27,563千円 委託料 1,313千円 株式会社沖縄設計センター 1,313千円 工事請負費 26,250千円 有限会社 大建興業 26,250千円 整備に係る測量設計業務 整備に係る工事請負費														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>27,563</td><td>27,563</td><td>22,050</td><td>5,513</td><td></td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	27,563	27,563	22,050	5,513	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
27,563	27,563	22,050	5,513											
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託業者は指名競争入札により、実績、知識等を勘案し選定しており妥当であったと考えている。 ・工事請負業者は指名委員会を経て指名競争入札にて決定しており妥当であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												